

Table times vol.3

—みずさわペチャクチャテーブルタイムス3号—



まちで取り組みアイデアを考えよう！

お茶をしながら、瑞沢に暮らす人たち同士でまちのこれからを話す瑞沢 Pecha Kucha Table（みずさわペチャクチャテーブル）。第三回目が2月22日に瑞沢小学校多目的ホールで開催されました。この日のテーマは「まちの未来を創る」。テーブルタイムスでは各回の話し合いの様子をお伝えします。

〔日時〕
2月22日（水）18:30～21:00
〔場所〕
瑞沢小学校多目的ホール
〔参加人数〕
20人
〔プログラム〕

- ・はじめに
- ・前回のふりかえり
- ・ペチャクチャテーブルについて
- ・まちの取り組みの事例紹介
- ・ペチャクチャテーブル「目指したい未来をつくるマイアイデア・まちアイデア」

はじめに



今年度の最終回となりましたが、特に子育て世代の参加が多く見られました。今回も持ち寄りの具材でつくった豚汁が振舞われ、食べながらの会となりました。みなさんが目指したいまちの方向性に向けてアイデアを出し合います。

全体の流れ

- 知** まちの資源、課題を知る
- 考** 5年後、10年後の暮らしを考える
- 創** やりたいこと、出来ることを考える

ペチャクチャテーブルは、今年度3回の話し合いを行い、瑞沢地区の今後の地域づくりの方向性と、目指したい将来像にむけて必要な取り組みを考えていきます。

前回のふりかえり



前回のみずさわペチャクチャテーブルでは、参加者が目指したい未来と瑞沢の5年後、10年後を考えるをテーマにテーブルワーク形式で共有、最後にテーブルごとに発表しました。

前回の意見（目指したい未来）

- ・子供たちの声が聞こえる
- 子育て世代が暮らしたい
- ・多様な仕事・働き方がある
- ・住民が主役のまち
- まちの魅力を自分たちでつくる
- ・環境の維持・学びがある
- ・暮らしを楽しめる（移動、生きがい）
- 資源と課題を生かした活動をつくる

全国の事例紹介

まちの未来を考える為に参考になりそうな全国の事例を紹介します。



モリウミアス（宮城県石巻市雄勝町）

旧小学校を2年間約4500名のボランティアと一緒に改修した子どもたちが自然環境を学ぶ体験型宿泊施設です。森、海、食、季節のプログラムがあり、地元の漁師や農家が先生になっています。



ユーカーリ優都ぴあ（千葉県佐倉市）

少人数で自発的な生活を送る高齢者グループホームと、放課後の家庭の役割を担う学童保育所を併設した幼老複合施設です。子どもとお年寄りがイベントや日頃のふれあいにより、ゆるやかな関係性を育んでいます。

ペチャクチャテーブル「まちの未来を考える」

今日のテーマは「まちの未来を考える」。テーブルごとに活動アイデアをできるだけたくさん考え、「睦沢町に最適なものはなにか」、「地域のどこでだれが実施できそうか」、そして「運営するのにどんな仕組みが必要か」を検討しました。

6つのジャンル

- 魅力発信** 町内外にむけた情報が得られる・交換できる
- 新しい商いづくり** 多様な職種、働き方がある
- 自然の維持・活用** 維持につながる体験や観光、特産など
- 学びの場** 地域・環境教育、生涯教育など
- 交流の場** 世代間、3地区間や住民と移住希望者など
- 困りごとの解決** 生活支援、地域の課題を解決できる場

3つの場所

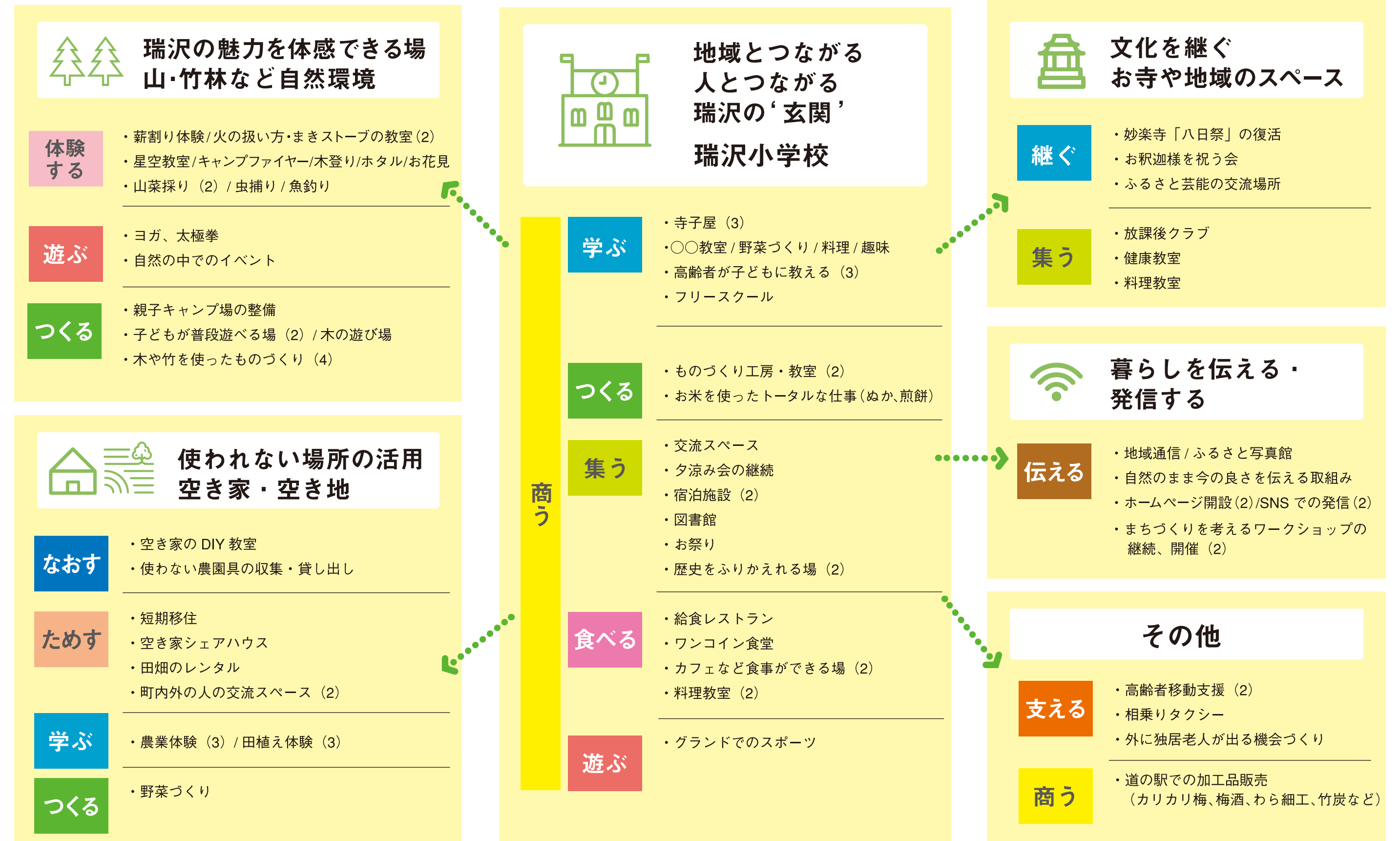
- 瑞沢小学校
- 空き地 空き家
- その他

ペチャクチャタイム「目指したいまちの未来を創るアイデアを考えよう」

事例をふまえて、目指したいまちの未来をつくるには、どんな取り組みがあると良いか、取り組み場所や、担い手なども含めてアイデアを出し合いました。下図は各テーブルから出た意見をとりまとめたものです。

今後に向けて

今年度のペチャクチャテーブルは、今回が最終回です。話し合われた内容を実現させるため、より深い話し合いや検討を進めて行く必要があります。次年度も話し合いを続けていきましょう！



担い手 ▶ **有志によるボランティアやNPOの立ち上げ、スキルを持った協力者のサポートなど、住んでいるみなさん自身の参画が不可欠**